

東洋文庫第5回総合アジア圏域研究国際シンポジウム
(2016年9月24日(土) 於公益財団法人東洋文庫講演室)

アーカイブの内と外 ——当代中国研究の新展開



主催：公益財団法人 東洋文庫

後援：NIHU 現代中国研究 東洋文庫拠点

10：00-10：05 開会挨拶 濱下 武志（東洋文庫研究部長）

10：05-10：15 趣旨説明 村田雄二郎（東洋文庫研究員・東京大学教授）

10：15-11：30 基調報告「アーカイブ・記録・記憶」

張 濟順（華東師範大学教授）

「民間史料と中国現代史研究の人文志向——華東師範大学現代文献史料センター収蔵品についての所見」

呂 芳上（台湾中央研究院兼任研究員・国史館前館長）

「日記と中国近代史研究——『蔣介石日記』を例とした検討」

12：45-13：15 特別講演 田仲 一成（東洋文庫図書部長）

「東洋文庫所蔵の中国農村祭祀関係視覚資料」*

* この報告は『中国農村祭祀関係視覚資料』からみた旧中国の農村社会システム」として018ページに掲載（中国語のみ）。

- 13：15-14：45 第1セッション「戦後東アジアの国際関係と檔案（アーカイブ）」
司会 毛里 和子（東洋文庫研究員・早稲田大学名誉教授）
報告者 井上 正也（成蹊大学准教授）
「日中平和友好条約と福田外交」
報告者 沈 志華（華東師範大学教授）
「中朝関係の新たな起点：労働党八月事件とその結果——ロシアと中国のアーカイブに基づく研究」
コメンテーター 下斗米伸夫（法政大学教授）
- 14：55-16：25 第2セッション「大衆・集団・国家」
司会 中兼和津次（東洋文庫研究員・東京大学名誉教授）
報告者 張 樂天（復旦大学教授）
「現代中国の民間書簡の特徴とその研究方法についての初歩的検討」
報告者 行 龍（山西大学副学長）・馬 維強（山西大学副教授）
「集団化時代の農村末端檔案と山西社会の研究」
コメンテーター 内山 雅生（東洋文庫研究員・宇都宮大学名誉教授）
祁 建民（長崎県立大学教授）
- 16：35-17：55 第3セッション「檔案資料から見る“中国”の内と外」
司会 石川 禎浩（京都大学教授）
報告者 潘 光哲（台湾中央研究院研究員兼胡適記念館主任）
「胡適研究の新ツール——『胡適檔案検索系統』と『胡適蔵書検索資料庫』の紹介」
報告者 陳 学然（香港城市大学副教授）
「檔案資料の内と外——「五四」・「香港」を中心とする検討」
コメンテーター 菅野 敦志（名桜大学上級准教授）
- 17：55-18：20 総括発言・討論 村田雄二郎（東洋文庫研究員・東京大学教授）